



平成28年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月8日

上場会社名 株式会社ストリーム 上場取引所 東証マザーズ  
 コード番号 3071 URL http://www.stream-jp.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)劉 海濤  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)土屋 敏 (TEL) (03) 6858-8189  
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第3四半期の連結業績(平成27年2月1日~平成27年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	16,868	12.3	267	119.8	269	96.3	223	34.5
27年1月期第3四半期	15,015	32.6	121	—	137	—	166	—

(注) 包括利益 28年1月期第3四半期 230百万円(36.6%) 27年1月期第3四半期 168百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第3四半期	8 23	8 21
27年1月期第3四半期	6 92	6 89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年1月期第3四半期	4,825	1,648	32.7
27年1月期	4,223	1,419	32.1

(参考) 自己資本 28年1月期第3四半期 1,576百万円 27年1月期 1,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
28年1月期	— —	0 00	— —		
28年1月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年2月1日~平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,465	5.5	374	33.7	370	23.0	298	14.5	10 98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年1月期3Q	28,525,000株	27年1月期	28,525,000株
28年1月期3Q	1,311,500株	27年1月期	1,311,500株
28年1月期3Q	27,213,500株	27年1月期3Q	24,068,427株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年2月～10月)におけるわが国経済は、継続的な政府の経済・金融政策により穏やかな回復が続いておりますが、最近の企業収益は円安や原油安に支えられている面がありました。個人消費は雇用・所得環境が継続的に改善しているものの、個人消費の持ち直しに結び付きにくい状況にあり、日本経済は回復を持続できるかの分岐点にあり、景気の足踏み感も見られます。

国内の家電量販店におきましては、大型テレビ、4Kテレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの白物家電の伸長及び掃除機や調理家電等は、高機能商品の需要の伸びにより平均単価が上昇し、販売台数の伸びと合わせ堅調に推移し、特に収益面では改善が見られました。

当社のインターネット通販事業につきましては、売れ筋商材の確保とアイテム数の充実による在庫の適正化及び、市場価格への迅速な対応等の施策の継続、外部サイト別では「楽天市場」「YAHOO! JAPANショッピング」を中心とした大型イベントへの積極的な取り組みが順調な売上確保の要因となっております。また、当社のメインサイトであるECカレントにおきましては、リピート顧客の掘り起こしを目的としたポイントプレゼント企画や『16周年セール』を実施し、受注件数の増加に繋がっております。

当第3四半期における主要商品の売上動向につきましては、前年同期比で家電17.5%増、パソコン35.7%増、周辺機器・デジタルカメラ14.8%増と前年の実績を上回る業績となりました。

その結果、インターネット通販事業における売上高は15,237百万円(前年同四半期比10.0%増)、営業利益174百万円(前年同四半期比42.1%増)となりました。

## インターネット通販事業の売上・来店客数推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	来客数(千人)	受注件数(千件)	会員数(千人)
当第3四半期連結累計期間	15,237	174	11,112	605	8,533
前第3四半期連結累計期間	13,849	122	12,426	575	7,887

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

(百万円)

	家電	パソコン	周辺/デジカメ	その他	合計
当第3四半期連結累計期間	8,375	1,175	4,135	1,551	15,237
前第3四半期連結累計期間	7,129	866	3,601	2,252	13,849

※当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

※会員数は顧客情報を登録頂いている顧客数の累計です。

その他事業につきましては、連結子会社である株式会社エクスワンによる化粧品、健康食品を中心とした生活必需品の販売事業であります。当第3四半期におきましては定番商品であるインナップEXシリーズや発売以来同社の主力商品となっている「XLUXES(エクスリュークス)」シリーズ及びエイジングケアサプリメント「バイオックス水素」等、新製品の販売が好調に推移しております。

店舗展開におきましては、直営店であるコスメ・ブティック「XLUXES GINZA」及びエステ・サロン「XLUXES AOYAMA」において、新規顧客開拓と販路拡大策を継続展開するとともに、国内免税店における店舗販売は現在24店舗(平成27年10月31日現在)にて展開しており、インバウンド需要により安定した売上を確保しております。

これらにより、部門別の売上は、パーソナルケア(化粧品)部門1,478百万円、ヘルスケア(健康食品)部門294百万円、その他部門86百万円となりました。

その結果、その他事業における売上高は1,859百万円(前年同四半期比53.5%増)、営業利益93百万円(前年同四半期は0百万円の営業利益)となりました。

当社グループの事業方針として「インターネット通販事業」を主力に「各種販売支援事業」並びに「オンラインゲーム事業」、その他事業のエクスワンによる「化粧品・健康食品等の販売事業」により事業の多角化とグループ全体の事業効率を推進し企業価値の向上を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,868百万円(前年同四半期比12.3%増)、営業利益267百万円(前年同四半期比119.8%増)、経常利益269百万円(前年同四半期比96.3%増)、四半期純利益は223百万円(前年同四半期比34.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ602百万円増加し、4,825百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金36百万円増加、商品316百万円増加、前払費用の増加等による流動資産「その他」113百万円増加、差入保証金71百万円増加によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ373百万円増加し、3,177百万円となりました。これは主に、未払金96百万円増加、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)312百万円増加、短期借入金80百万円減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ229百万円増加し、1,648百万円となりました。これは主に、四半期純利益223百万円の計上によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し、405百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、119百万円(前年同四半期は336百万円使用)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益286百万円、非資金項目である減価償却費155百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額327百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、321百万円(前年同四半期は282百万円使用)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出67百万円、無形固定資産の取得による支出127百万円、差入保証金の差入による支出71百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は、224百万円(前年同四半期は361百万円増加)となりました。収入の内訳は、長期借入れによる収入550百万円、支出の主な内訳は、短期借入金の純減額80百万円、長期借入金の返済による支出237百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での通期業績予想は、平成27年3月13日付で開示いたしました業績予想から変更ありません。

なお、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	383,486	405,975
受取手形及び売掛金	1,152,291	1,189,259
商品	1,634,424	1,951,214
その他	147,984	261,560
流動資産合計	3,318,187	3,808,010
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	21,303	26,637
車両運搬具(純額)	6,569	6,196
工具、器具及び備品(純額)	62,422	107,478
有形固定資産合計	90,296	140,312
無形固定資産		
ソフトウェア	421,761	405,664
その他	30,731	51,935
無形固定資産合計	452,492	457,600
投資その他の資産		
投資有価証券	13,352	12,520
出資金	160	160
差入保証金	280,615	352,170
その他	68,262	54,876
投資その他の資産合計	362,390	419,727
固定資産合計	905,179	1,017,640
資産合計	4,223,366	4,825,650



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,542,101	1,547,621
短期借入金	280,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	223,360	309,490
未払金	230,983	327,645
未払法人税等	30,187	56,744
賞与引当金	5,666	26,666
ポイント引当金	16,877	24,597
その他	188,396	201,360
流動負債合計	2,517,573	2,694,126
固定負債		
長期借入金	201,640	428,005
繰延税金負債	8,392	6,424
その他	76,539	48,722
固定負債合計	286,571	483,151
負債合計	2,804,145	3,177,277
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	924,429	924,429
資本剰余金	867,281	867,281
利益剰余金	△277,316	△53,444
自己株式	△161,866	△161,866
株主資本合計	1,352,528	1,576,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,926	141
その他の包括利益累計額合計	2,926	141
新株予約権	3,632	2,384
少数株主持分	60,134	69,446
純資産合計	1,419,221	1,648,372
負債純資産合計	4,223,366	4,825,650

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
売上高	15,015,034	16,868,261
売上原価	12,252,883	13,361,857
売上総利益	2,762,151	3,506,404
販売費及び一般管理費	2,640,396	3,238,739
営業利益	121,754	267,664
営業外収益		
受取利息	97	142
受取配当金	71	10
為替差益	3,467	379
投資有価証券売却益	-	9,572
預り金整理益	4,420	-
償却債権取立益	12,807	-
その他	5,615	1,611
営業外収益合計	26,479	11,717
営業外費用		
支払利息	9,167	8,584
その他	1,930	1,606
営業外費用合計	11,097	10,190
経常利益	137,137	269,191
特別利益		
負ののれん発生益	65,224	-
受取補償金	-	18,000
新株予約権戻入益	-	1,248
特別利益合計	65,224	19,248
特別損失		
固定資産除売却損	48	1,896
減損損失	5,164	-
情報セキュリティ対策費	20,978	-
事務所移転費用	20,042	-
特別損失合計	46,234	1,896
税金等調整前四半期純利益	156,127	286,543
法人税等	△11,966	53,358
少数株主損益調整前四半期純利益	168,093	233,185
少数株主利益	1,595	9,312
四半期純利益	166,498	223,872

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	168,093	233,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	561	△2,785
その他の包括利益合計	561	△2,785
四半期包括利益	168,655	230,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,060	221,087
少数株主に係る四半期包括利益	1,595	9,312

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	156,127	286,543
減価償却費	140,254	155,907
減損損失	5,164	-
受取補償金	-	△18,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,416	21,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	17,392	7,720
受取利息及び受取配当金	△168	△153
支払利息	9,167	8,584
新株予約権戻入益	-	△1,248
固定資産除売却損益(△は益)	48	1,896
負ののれん発生益	△65,224	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△9,572
売上債権の増減額(△は増加)	△230,402	△36,967
たな卸資産の増減額(△は増加)	△190,919	△327,327
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,493	5,519
その他	△131,349	22,208
小計	△313,986	116,110
利息及び配当金の受取額	168	148
利息の支払額	△9,162	△8,342
補償金の受取額	-	18,000
法人税等の支払額	△13,351	△6,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	△336,330	119,245
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△450
有形固定資産の取得による支出	△54,742	△67,794
有形固定資産の売却による収入	740	-
無形固定資産の取得による支出	△216,967	△127,714
投資有価証券の売却による収入	-	14,106
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△41,993	-
差入保証金の差入による支出	△17,054	△71,939
差入保証金の回収による収入	109,807	58
その他	△62,424	△68,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△282,633	△321,770
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△350,000	△80,000
長期借入れによる収入	500,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△97,700	△237,505
新株予約権の行使による株式の発行による収入	298,789	-
自己株式の処分による収入	19,470	-
配当金の支払額	△69	-
その他	△8,629	△7,930
財務活動によるキャッシュ・フロー	361,861	224,564
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△257,103	22,038
現金及び現金同等物の期首残高	479,520	383,436
現金及び現金同等物の四半期末残高	222,417	405,475

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,803,764	1,211,270	15,015,034	—	15,015,034
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,379	—	45,379	△45,379	—
計	13,849,143	1,211,270	15,060,413	△45,379	15,015,034
セグメント利益	122,839	713	123,553	△1,799	121,754

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,799千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他事業は、化粧品、健康食品を中心とした生活必需品の販売事業であります。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、新たに株式を取得した株式会社エクスワンを連結の範囲に含めております。

これにより前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額はその他事業において666,025千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

その他事業において、事務所の移転に伴い、今後使用見込みのない資産全額を減損処理したことにより、5,164千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

その他事業において、第1四半期連結累計期間に株式会社エクスワンの発行株式の80%を取得したことにより連結子会社となりました。

この結果、61,878千円の負ののれん発生益を計上しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年2月1日 至 平成27年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,011,826	1,856,435	16,868,261	—	16,868,261
セグメント間の内部売上高又は振替高	225,834	3,007	228,841	△228,841	—
計	15,237,660	1,859,442	17,097,103	△228,841	16,868,261
セグメント利益	174,513	93,288	267,802	△138	267,664

- (注) 1. セグメント利益の調整額△138千円は、セグメント間取引消去によるものであります。  
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。  
 3. その他事業は、化粧品、健康食品を中心とした生活必需品の販売事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。